

2022年度 第2四半期決算説明会資料

2022年11月24日
株式会社 北川鉄工所
証券コード：6317（東証プライム）

- ① 会社概要
- ② 2022年度 経営環境
- ③ 2022年度 決算報告
- ④ 2022年度 事業計画

① 会社概要

② 2022年度 経営環境

③ 2022年度 決算報告

④ 2022年度 事業計画

会社名	株式会社北川鉄工所
本社所在地	広島県府中市元町
代表者	代表取締役会長 北川 祐治
創業	1918年3月
従業員数	グループ合計： 2,727名 内単独： 1,431名
事業規模	連結売上高： 586億円（2021年度） 連結営業利益： 21億円（2021年度）
事業内容	工作機器 産業機械、立体駐車場 金属素形材
主要関係会社	KITAGAWA(THAILAND)CO.,LTD. KITAGAWA MEXICO,S.A. DE C.V.

経営ビジョン

株式会社 北川鉄工所は
ものづくりという業にあって

**お客様の喜びを我々の喜びとし、
素直な心を尊び、勇気ある行動を敬い、
自己実現の場として自律した活力ある
リーダーを育成し、
技術を誇り、未知なる世界に挑戦する**

Quality Businessを実践する集団である

K Ghカンパニー

Kitagawa Global hand Company

事業

- 工作機器（ワークホールディング）
- 旋盤用チャック・NC円テーブル
- ロボットハンド

規模

- 売上高構成比率 17%
- 2021年度売上 98億円

顧客

- 海外売上比率 約40%
- 国内主要工作機械にて標準品採用



旋盤用チャック



ロボットハンド



NC円テーブル

事業概要 KSTカンパニー（産業機械事業）

KSTカンパニー

Kitagawa Sun Tech Company

事業

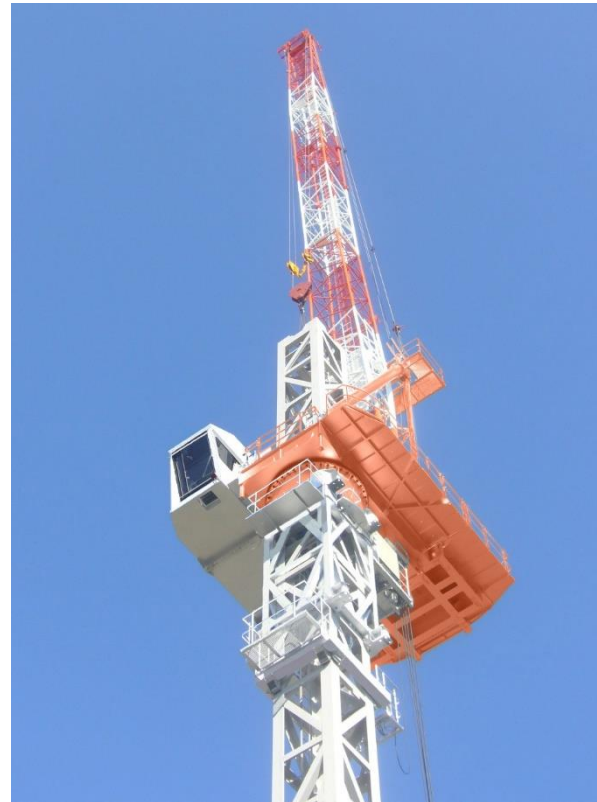
- コンクリートプラント
- 建設用クレーン
- 立体駐車場
- 環境機械

規模

- 売上高構成比率 36%
- 2021年度売上 213億円

顧客

- 国内顧客が中心
- 北海道～沖縄にかけ営業拠点構築



建設用クレーン「ビルマン」



コンクリートプラント



立体駐車場

KMTカンパニー

Kitagawa Material Technology Company

事業

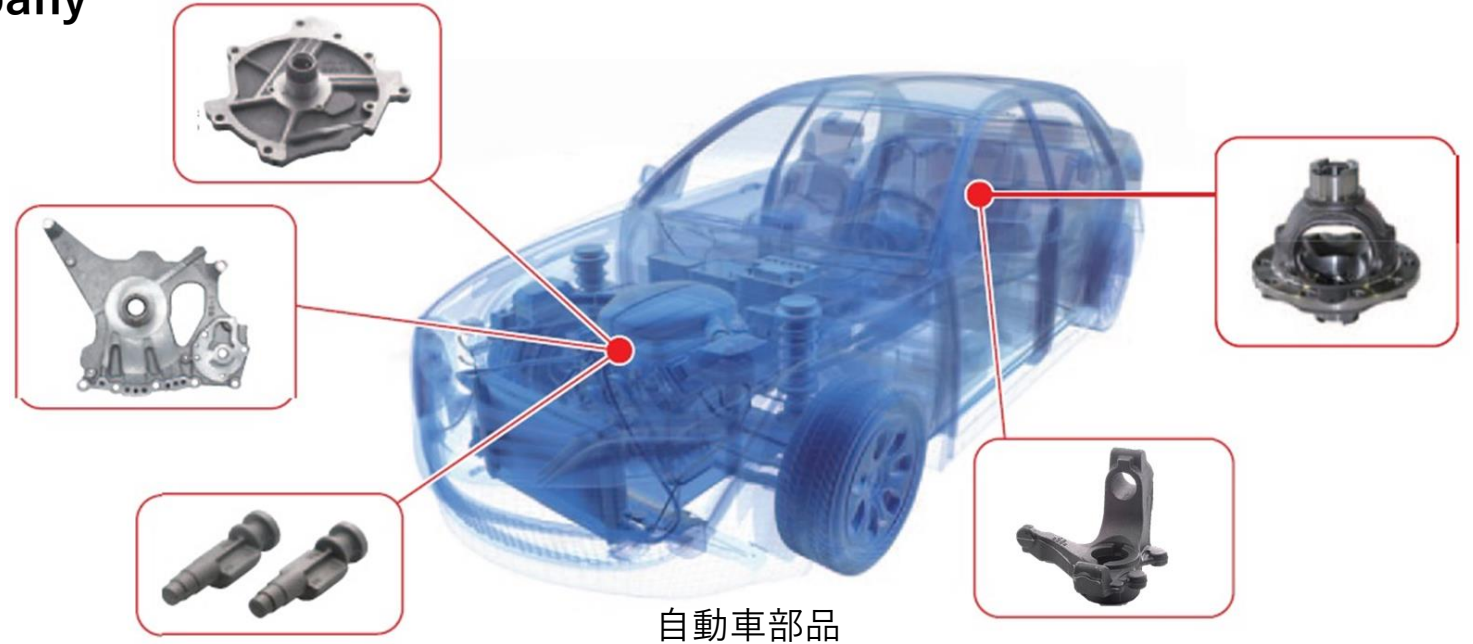
- 鉄系鋳物の製造
- 鋳物製品の機械加工

規模

- 売上高構成比率 46%
- 2021年度売上 270億円

顧客

- 自動車部品 55%
- 建機・農機部品 45%



建機・農機部品

- ① 会社概要
- ② 2022年度 経営環境
- ③ 2022年度 決算報告
- ④ 2022年度 事業計画

サプライチェーン の停滞

半導体を始めとした
部品調達の長期化

中国ゼロコロナ政策
による混乱

自動車業界の混乱

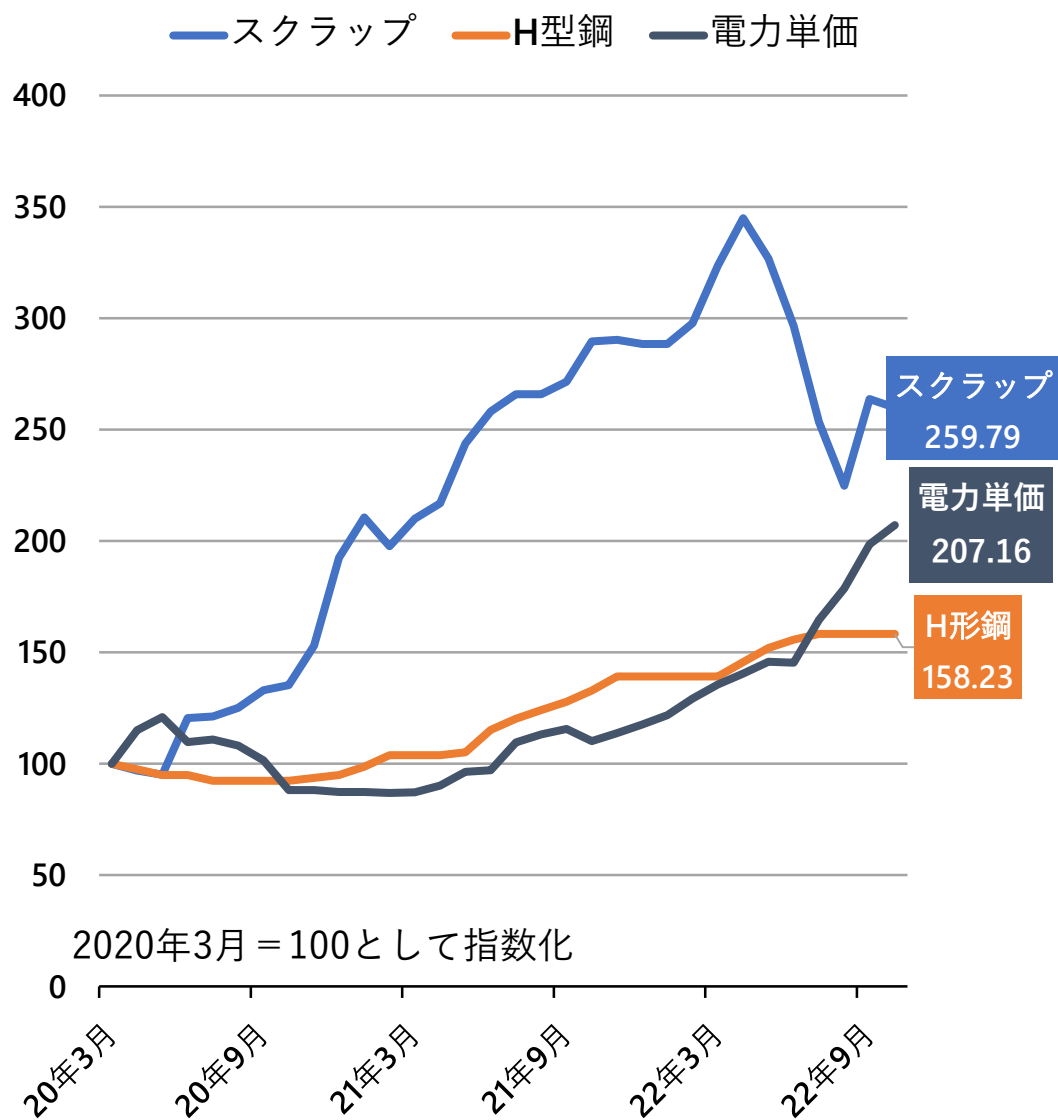
EV推進による
既存投資の抑制

生産調整

世界経済

金融引き締め
円安

エネルギー価格の
高騰



- スクラップ、鋼材等の主要材料価格は高止まりも、依然として高値水準で推移
- 金属素形材を中心に電力単価の高騰は原価上昇の大きな要因を占めている。急激な上昇により、利益率は著しく悪化した
- 販売先への価格交渉は継続しているが、当社が主導権を握り、転嫁できるものとそうでないもので利益の状況に大きな開きが生じている

トピックス①

- 国内初 大型建設用3Dプリンタを納品

概要

- モルタル系材料を積層、広範囲に複雑な立体形状を造形可能な3Dプリンタを納品
- 自動運転により、省人化・工期短縮
- 建築法の制限により、現時点では用途は限定も、意匠的・独創的なデザインに対応可能



トピックス②

- タワークレーンが累計販売台数2,000台を達成

概要

- ビル建設用クレーン「ビルマン」が、1986年以来、今年7月に累計販売台数2,000台へ



- ① 会社概要
- ② 2022年度 経営環境
- ③ **2022年度 決算報告**
- ④ 2022年度 事業計画

- 売上高は荷役機械と立体駐車場の売上伸長により前年同期比+1.6%の280億円
- 営業利益は金属素形材事業の価格転嫁の遅れ、生産減による固定費負担増の影響大きく前年同期比△9億円の0.5億円
- 経常利益は持分法損益・為替差益の計上が加算され6億円となる

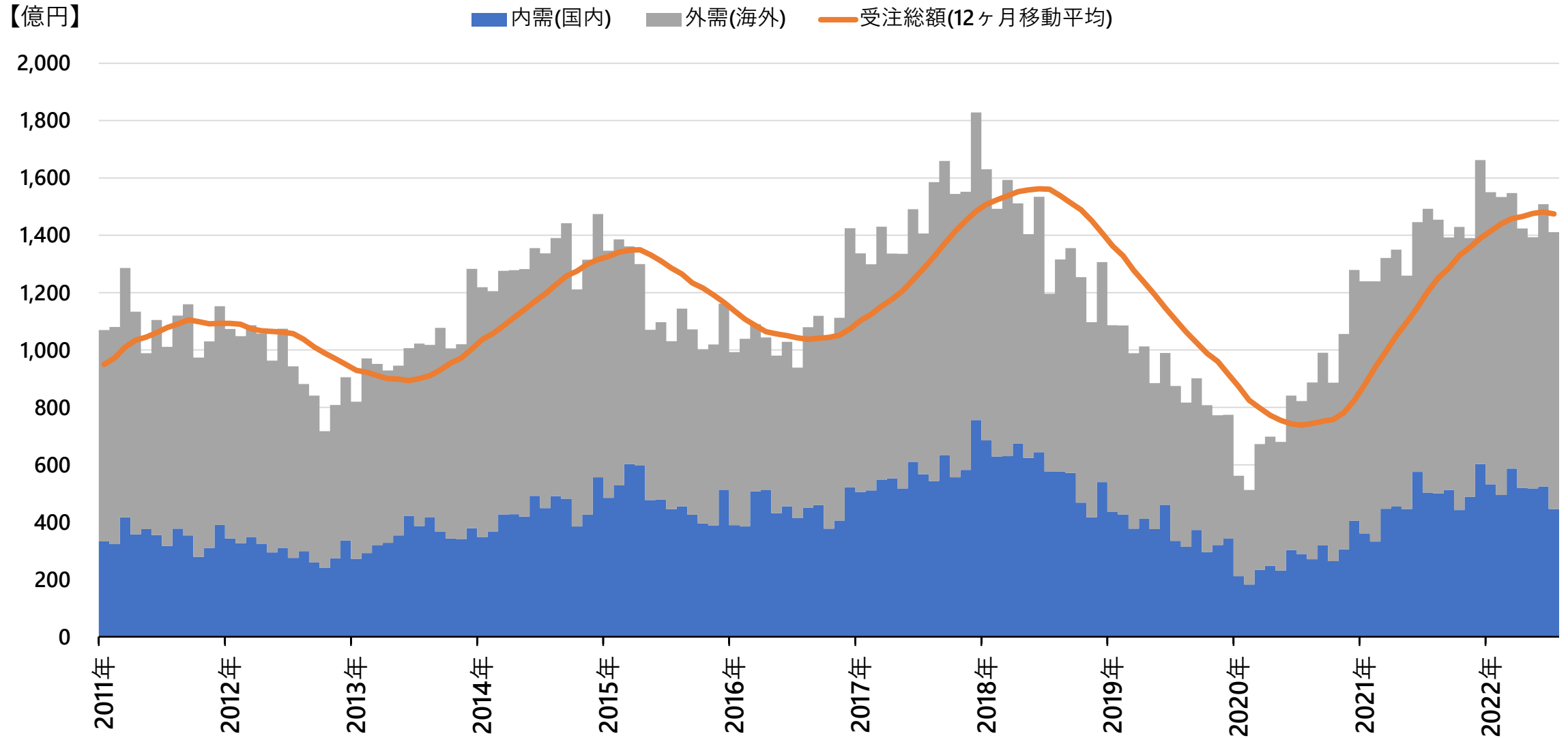
単位：百万円

	2021年度2Q	2022年度2Q	前年同期比	増減率
売上高	27,620	28,070 ↑	+ 449	+ 1.6%
営業利益	975	50 ↓	△ 925	△ 94.9%
営業利益率 (%)	3.5	0.2 ↓	—	△ 3.3pt
経常利益	1,237	607 ↓	△ 630	△ 50.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	656	30 ↓	△ 626	△ 95.4%

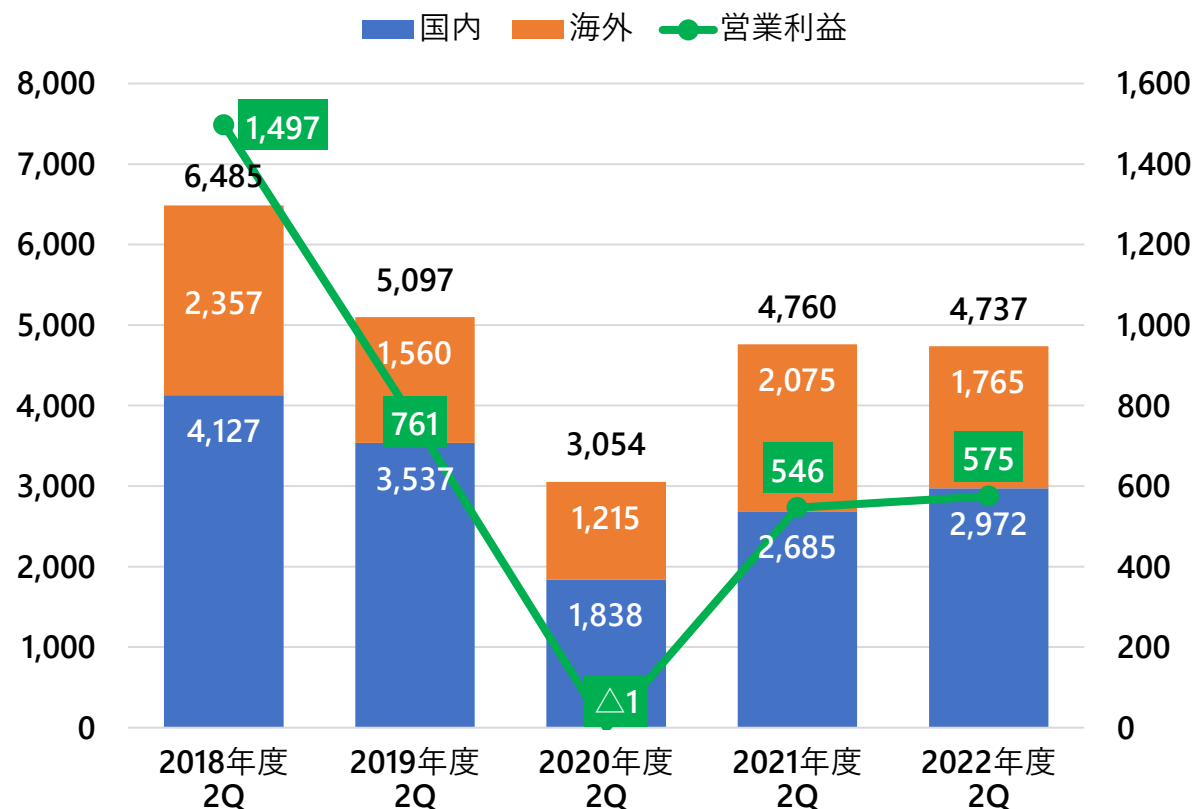
セグメント別業績

単位：百万円

セグメント		2021年度2Q	2022年度2Q	前年同期比	増減率
KGhカンパニー (工作機器事業)	売上高	4,760	4,737	△ 22	△ 0.5%
	営業利益	546	575	+28	+5.3%
KSTカンパニー (産業機械事業)	売上高	9,126	10,071	+944	+10.4%
	営業利益	847	772	△ 75	△ 8.9%
KMTカンパニー (金属素形材事業)	売上高	13,482	13,072	△ 410	△ 3.0%
	営業利益	125	△ 883	△1,008	—
その他事業	売上高	251	188	△ 62	△ 25.0%
	営業利益	△ 145	△ 94	+50	—
共通費用	営業利益	△ 398	△ 319	△ 78	—



	2021年度2Q	2022年度2Q	前年同期比（率）	
売上高	4,760	4,737	△ 22	(△0.5%)
営業利益	546	575	+28	(+5.3%)
利益率（%）	11.5	12.1	—	(+0.6pt)



国内市場

増収増益（売上前年同期比+10.7%）

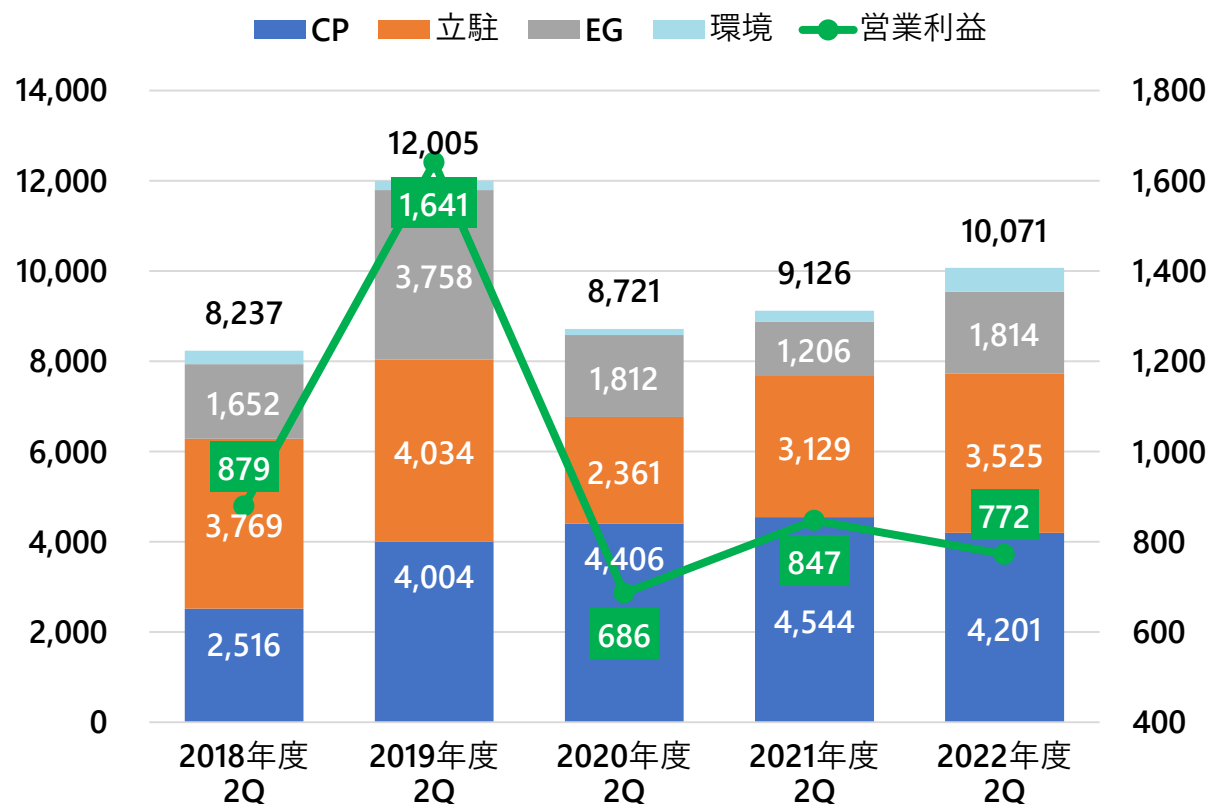
- 補助金制度による、需要増が売上に寄与
- 半導体製造設備投資への積極姿勢が継続

海外市場

減収減益（売上前年同期比△ 14.9%）

- 中国ゼロコロナ政策の影響で出荷停滞

	2021年度2Q	2022年度2Q	前年同期比（率）	
売上高	9,126	10,071	+944	(+10.4%)
営業利益	847	772	△ 75	(△8.9%)
利益率（%）	9.3	7.7	—	(△1.6pt)



コンクリートプラント（CP）

減収減益（売上前年同期比△ 7.6%）

- 一部納品が下期へずれ込み
- 利益率高い改造工事が減少した

立体駐車場

増収増益（売上前年同期比+ 12.7%）

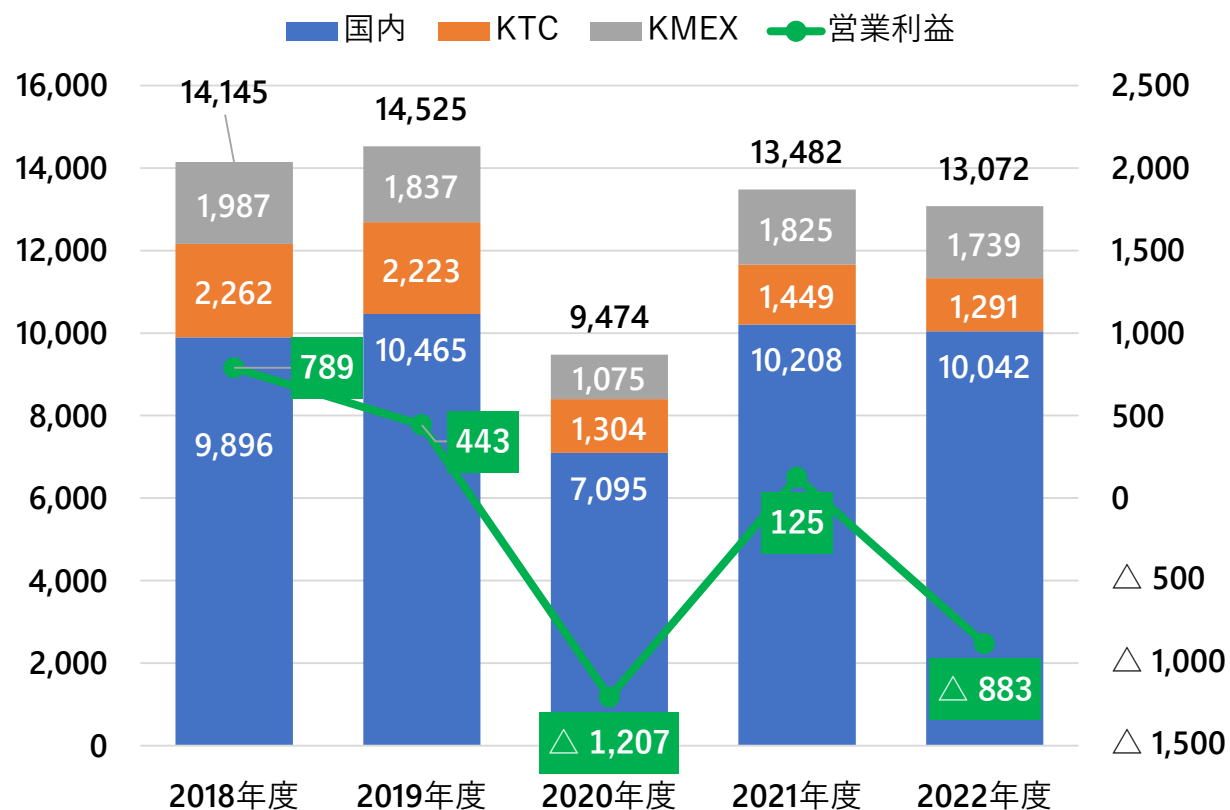
- 大型物件の進捗順調、前期比増収
- 受注と施工時期の差により、材料高騰の影響あり

荷役機械関連設備（EG）

増収増益（売上前年同期比+ 50.4%）

- 建設用クレーンの更新需要が継続
- 前期比大幅増は前期下期に納品集中の影響

	2021年度2Q	2022年度2Q	前年同期比（率）	
売上高	13,482	13,072	△ 410	(△3.0%)
営業利益	125	△ 883	△ 1,008	(—)
利益率（%）	0.9	△ 6.8	—	(△7.7pt)



日本国内

減収減益（売上前年同期比△ 1.6%）

- ・ 農機・建機向けで一時生産調整の影響あり
- ・ 電気代高騰の価格転嫁できず、利幅縮小

タイ（KTC）

減収赤字拡大（売上前年同期比△ 10.9%）

- ・ 規模縮小し、生産アイテムの削減を実施
- ・ 電気代高騰の価格転嫁できず、赤字幅拡大

メキシコ（KMEX）

減収赤字拡大（売上前年同期比△ 4.7%）

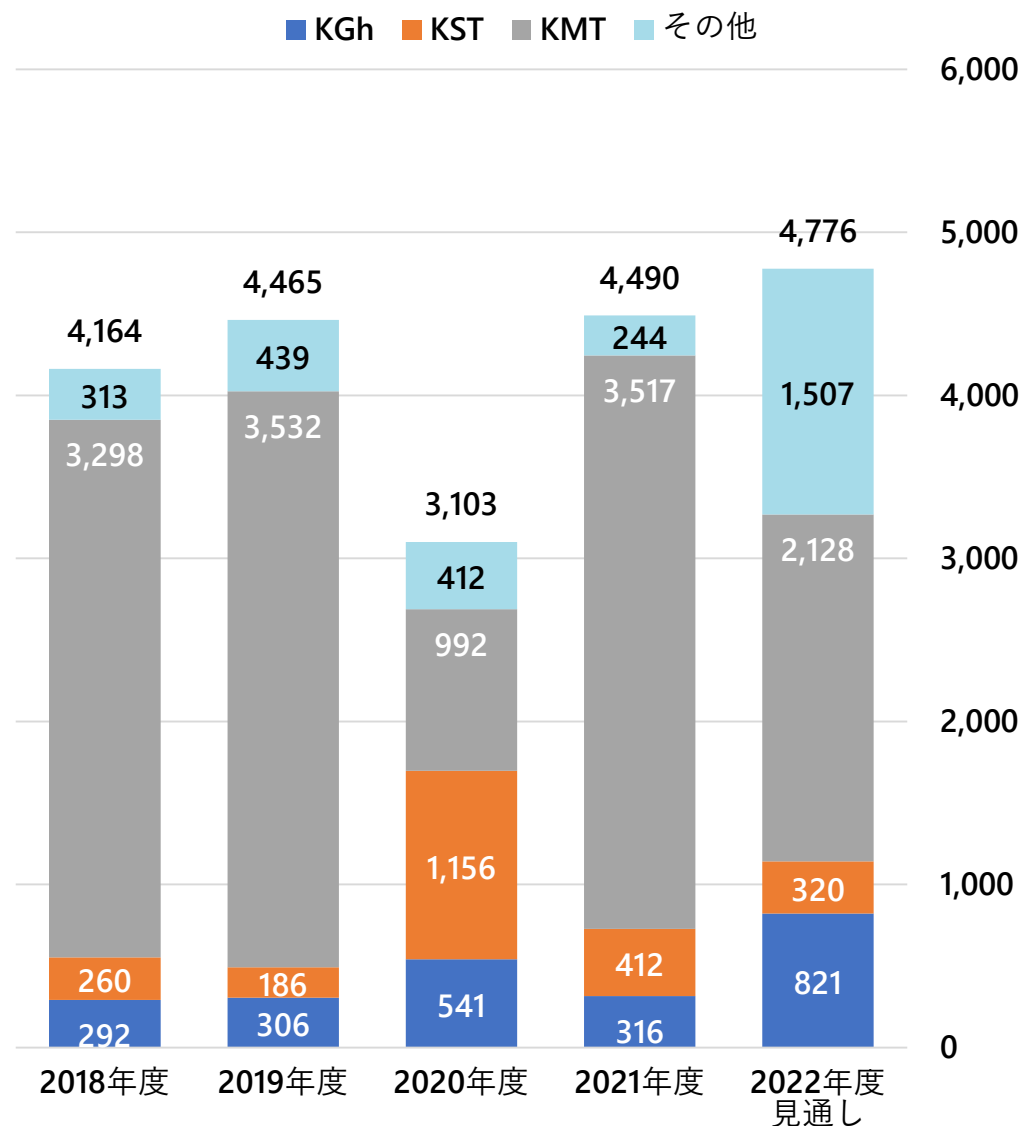
- ・ 自動車メーカーの生産調整により新規立ち上げ部品の売上が低迷
- ・ 電気代高騰の価格転嫁できず、赤字幅拡大

トピックス

- KMT下川辺・東京工場においてネック工程の改善のための設備増強を12億円実施予定
- 本社再構築は計画通り進捗
22年度内は13億円の投資となる見込み

	2021年度	2022年度 2Q	2022年度 見通し
KGhカンパニー	316	61	821
KSTカンパニー	412	91	320
KMTカンパニー	3,517	871	2,128
その他・全社	244	430	1,507
合計	4,490	1,455	4,776

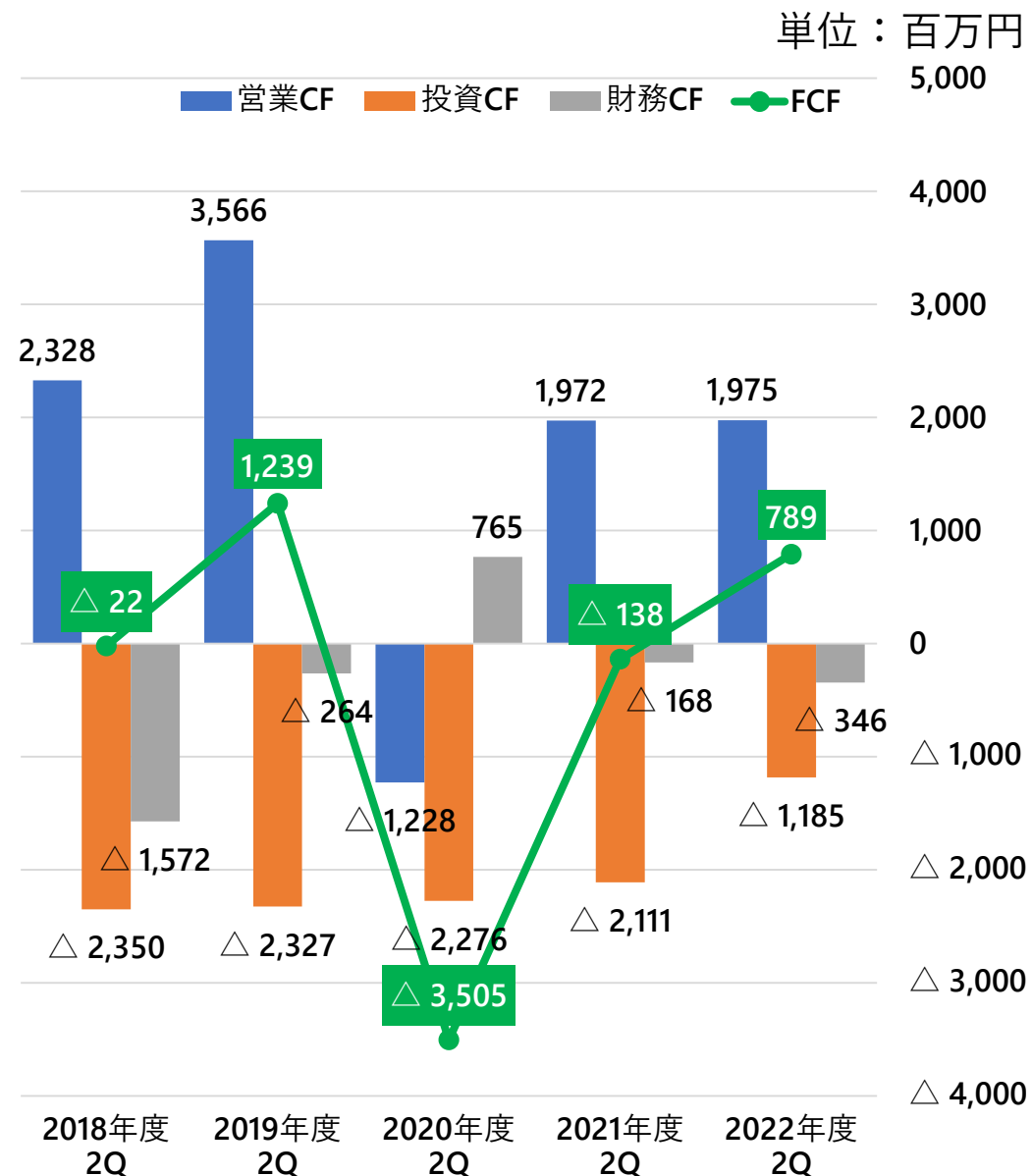
設備投資



連結キャッシュフロー概要

単位：百万円

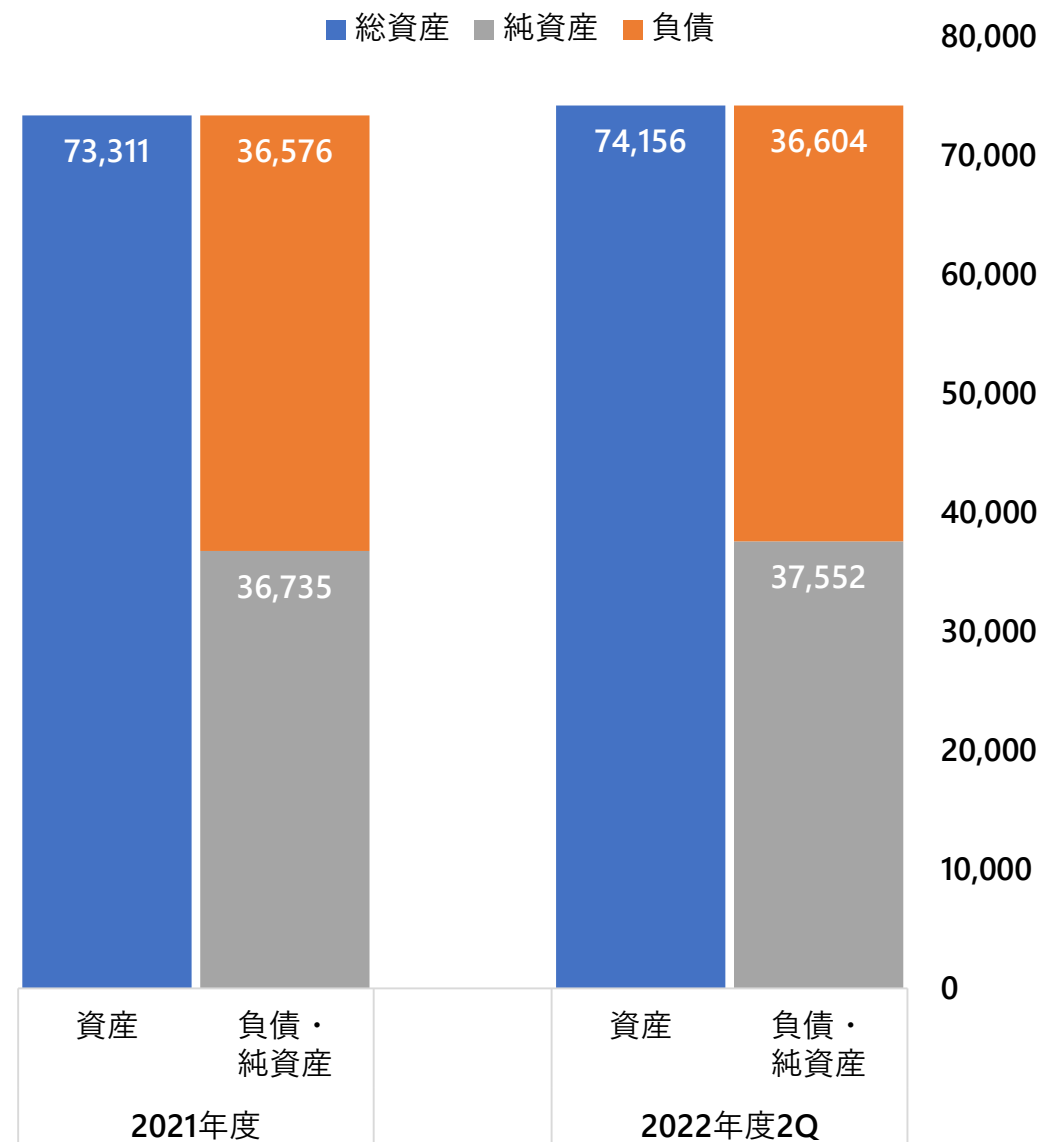
	2021年度 2Q	2022年度 2Q	前年 同期比
営業C/F	1,972	1,975	+3
内：税前三半期利益	1,197	326	△ 871
内：減価償却費	1,864	1,560	△ 303
内：運転資金増減	1,307	1,071	△ 235
投資C/F	△ 2,111	△ 1,185	+925
内：設備取得支出	△ 2,219	△ 1,384	+834
フリーC/F	△ 138	789	+928
財務C/F	△ 168	△ 346	△ 178
内：配当金の支払い	△ 187	△ 234	△ 46
現金同等物の期末残高	10,100	9,342	△ 757



連結貸借対照表概要

単位：百万円

	2021年度	2022年度 2Q	前期比
資産の部	73,311	74,156	+844
内：現金預金	8,852	9,605	+752
内：売上債権	19,406	17,182	△ 2,223
内：棚卸資産	11,577	12,450	+872
内：有形・無形固定資産	25,215	26,293	+1,078
負債の部	36,576	36,604	+27
内：仕入債務	11,814	11,144	△ 670
内：有利子負債	13,398	14,244	+845
純資産の部	36,735	37,552	+817
内：自己資本	36,326	37,005	+678
負債・純資産合計	73,311	74,156	+844



- ① 会社概要
- ② 2022年度 経営環境
- ③ 2022年度 決算報告
- ④ 2022年度 事業計画

- 当初計画より想定以上に自動車・農機向けの販売が落ち込み再度の修正となった
- 材料価格は転嫁が遅れながらも進んでいくが、電気代・副資材等の転嫁の遅れが深刻化しており、利益を圧迫している
- 特に金属素形材事業、海外子会社の収益悪化が著しく、通期業績見通しの大幅な引き下げ要因となった

単位：百万円

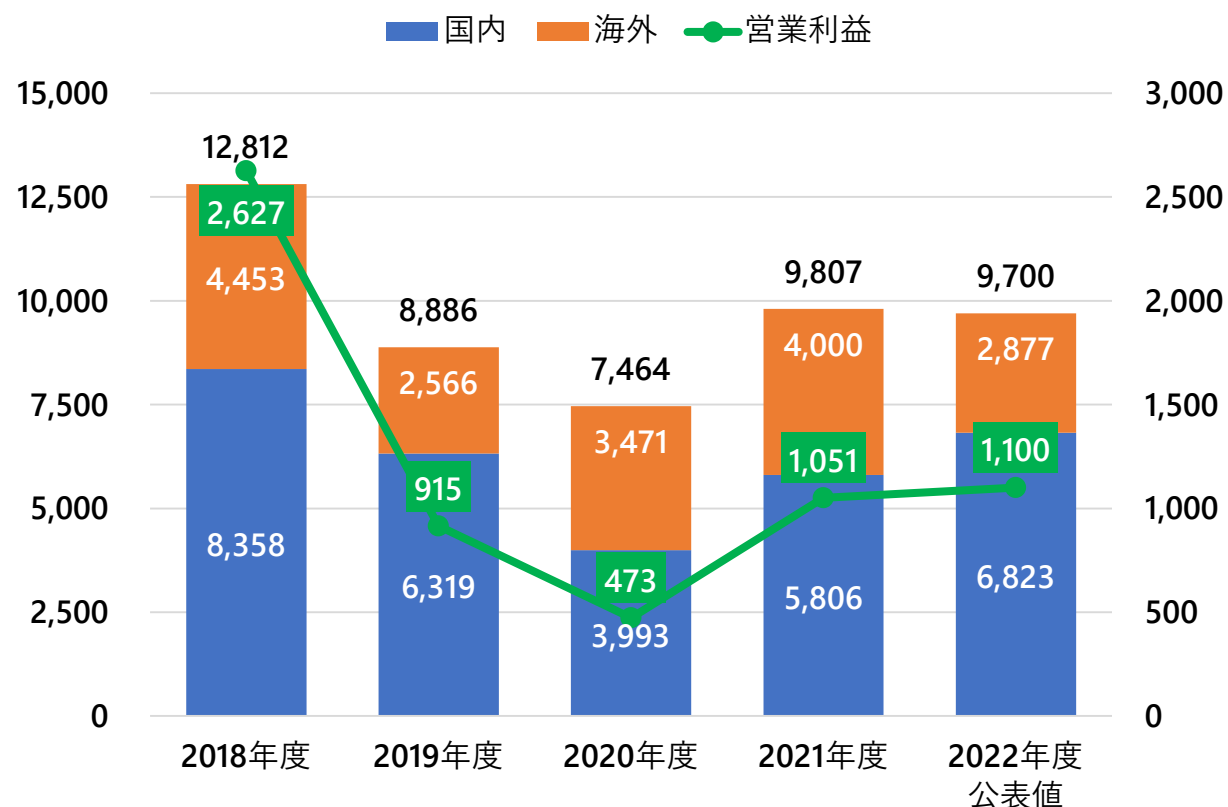
	2021年度 実績	2022年度 当初計画 22.5.12発	2022年度 修正公表値 22.8.10発	2022年度 修正公表値 22.11.11発	前期比	今回修正
売上高	58,676	63,000	61,000	60,000	+1,323	△ 1,000
営業利益	2,101	2,800	2,000	300	△ 1,801	△ 1,700
営業利益率（%）	3.6	4.4	3.3	0.5	△ 3.1pt	△ 2.8pt
経常利益	3,062	3,300	2,700	1,200	△ 1,862	△ 1,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 951	1,700	1,200	100	+1,051	△ 1,100

セグメント別事業計画

単位：百万円

		2021年度 実績	2022年度 当初計画 22.5.12発	2022年度 修正公表値 22.8.10発	2022年度 修正公表値 22.11.11発	前期比	今回修正
KGhカンパニー	売上高	9,807	10,750	9,900	9,700	△ 107	△ 200
(工作機器事業)	営業利益	1,051	1,390	1,390	1,100	+48	△ 290
KSTカンパニー	売上高	21,336	22,650	23,000	23,000	+1,663	—
(産業機械事業)	営業利益	2,381	2,100	2,230	1,850	△ 531	△ 380
KMTカンパニー	売上高	27,026	28,700	27,400	26,600	△ 426	△ 800
(金属素形材事業)	営業利益	△ 224	310	△ 630	△ 1,800	△ 1,575	△ 1,170
その他事業	売上高	505	900	700	700	+194	—
	営業利益	△ 203	△ 90	△ 160	△ 130	+73	△ 30
共通費用	営業利益	△ 902	△ 910	△ 830	△ 720	+182	+110

	21年度	22年度公表値	前期比（率）
売上高	9,807	9,700	△ 107 (△ 1.1%)
営業利益	1,051	1,100	+48 (+4.7%)
利益率（%）	10.7	11.3	(+0.6pt)



国内市場

増収増益 (売上前年同期比+8.1%)

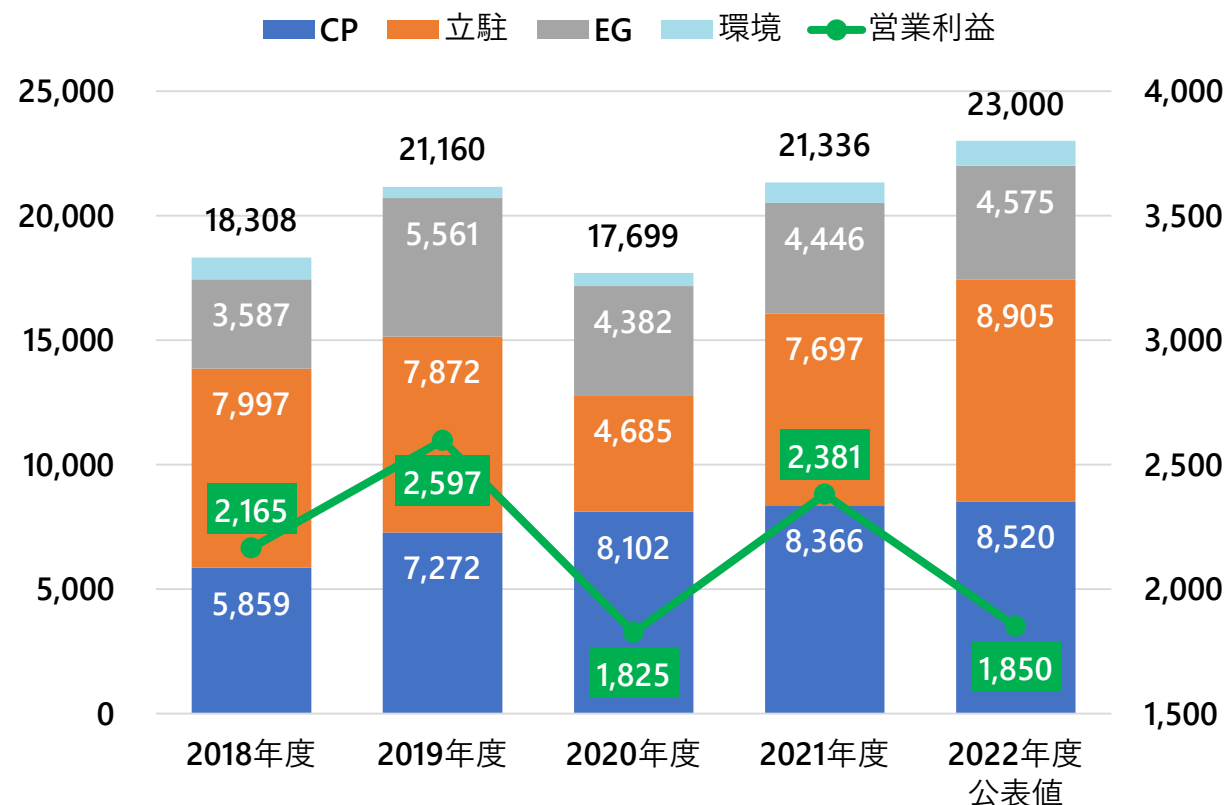
- 受注残高高水準、工作機械の活況は継続
- 生産効率の向上により増益
- 工作機械業界は過去最高水準の受注も、部品不足による生産逼迫継続し下振れリスク残る

海外市場

減収減益 (売上前年同期比△14.5%)

- 中国ゼロコロナ政策の影響大きく、客先も販売子会社も活動制限
- 金融引き締め・インフレによる消費需要減退に起因した、投資意欲の停滞

	21年度	22年度公表値	前期比（率）	
売上高	21,336	23,000	+1,663	(+7.8%)
営業利益	2,381	1,850	△ 531	(△22.3%)
利益率（%）	11.2	8.0	(△3.2pt)	



コンクリートプラント（CP）

増収減益（売上前年同期比+1.8%）

- 建設需要の底堅い動きに伴い、好調続く
- シェア拡大に向け、顧客満足度の向上を図るためメンテナンス中心にサービス強化

立体駐車場

増収増益（売上前年同期比+15.7%）

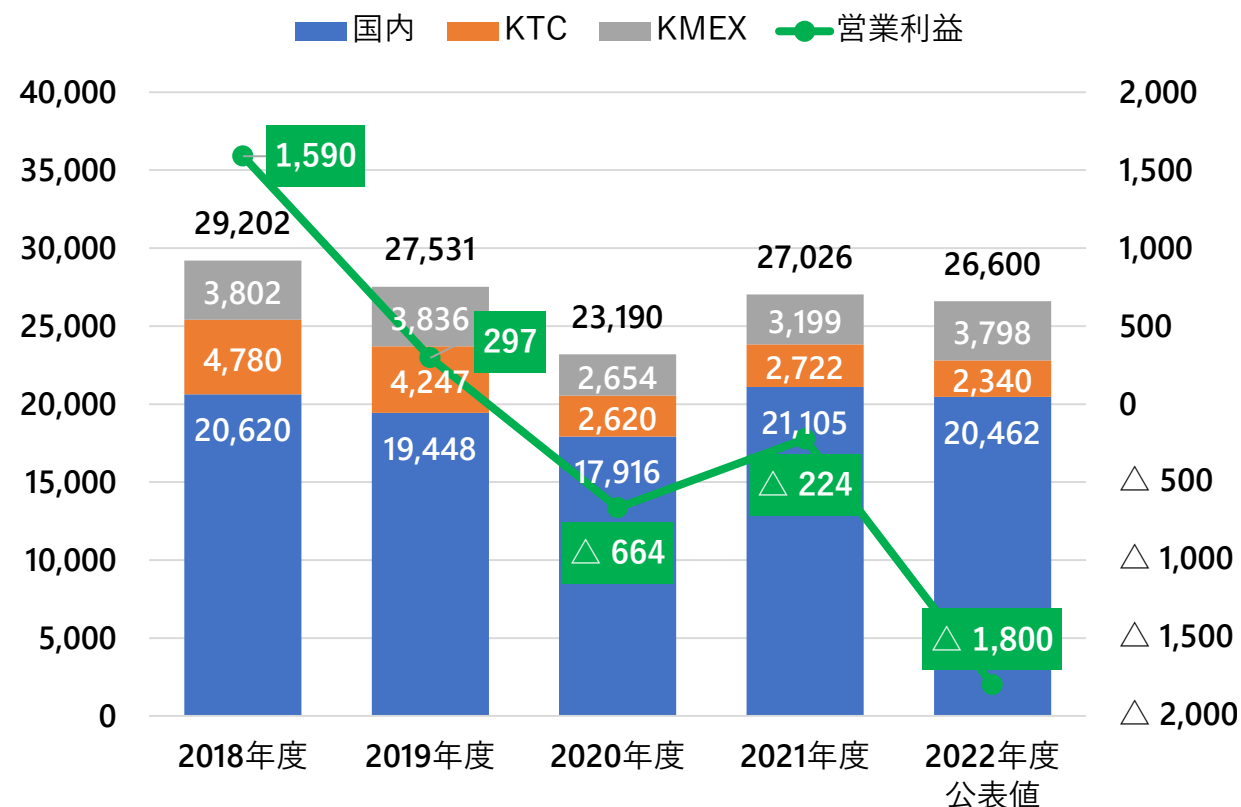
- 2022年度も大型物件の竣工継続で売上維持
- 物件あたりの大型化続き、売上増加続く

荷役機械関連設備（EG）

増収減益（売上前年同期比+2.9%）

- 建設用クレーンの更新需要の継続
- 建設用の需要一服を意識し新規市場へ開拓継続

	21年度	22年度公表値	前期比（率）
売上高	27,026	26,600	△ 426 (△1.6%)
営業利益	△ 224	△ 1,800	△ 1,575 —
利益率（%）	△ 0.8	△ 6.8	—



日本国内

減収減益 (売上前年同期比△3.1%)

- ・ 挽回生産での通期回復は困難と見込む
- ・ 不良改善・価格転嫁交渉で収益改善に取り組む

タイ (KTC)

減収赤字拡大 (売上前年同期比△14.0%)

- ・ 規模の縮小による事業構造改革を継続
- ・ 生産品目絞り込みによる減収続く
- ・ 電気代高騰により赤字幅依然拡大

メキシコ (KMEX)

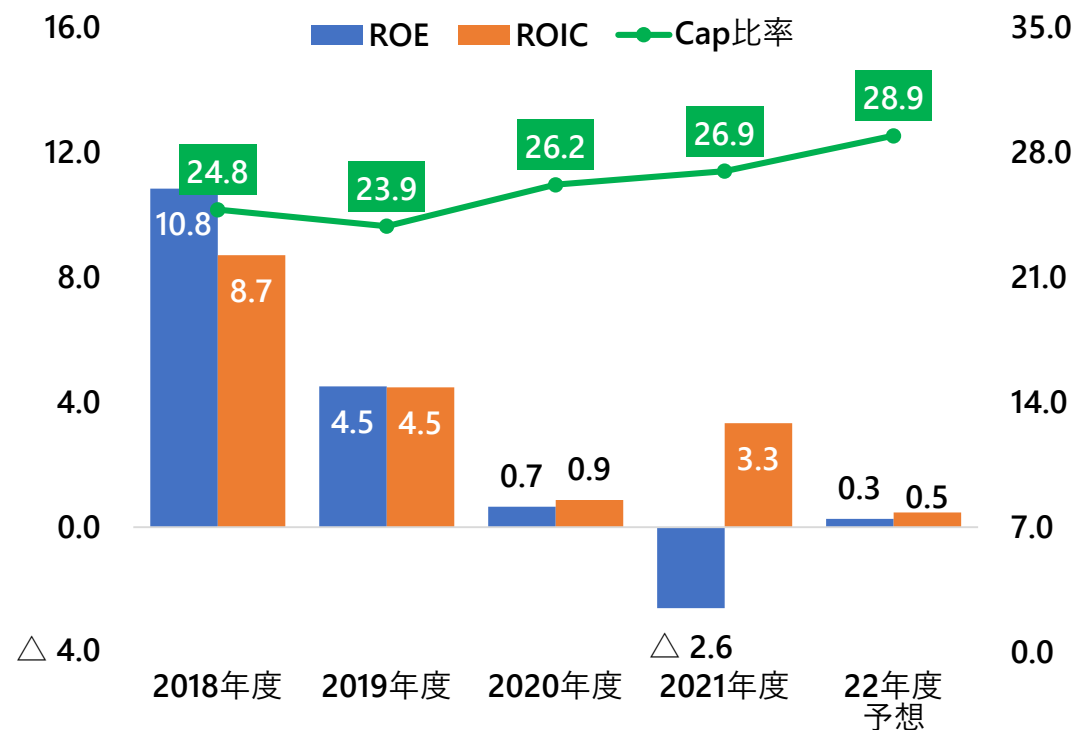
増収赤字減少 (売上前年同期比+18.7%)

- ・ 量産開始製品の安定化に注力
- ・ デフケース等、ターゲット製品に絞った受注活動を継続
- ・ 外貨建て赤字幅縮小も円建てでは赤字幅拡大

主要指標推移

単位：%

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	22年度予想	前期比
ROE	：自己資本利益率	10.8	4.5	0.7	△ 2.6	0.3	+2.9pt
ROIC	：投下資本利益率	8.5	4.5	0.9	3.3	0.5	△ 2.8pt
Cap比率	：キャピタルエクセーション比率	24.8	23.9	26.2	26.9	28.9	+2.0pt



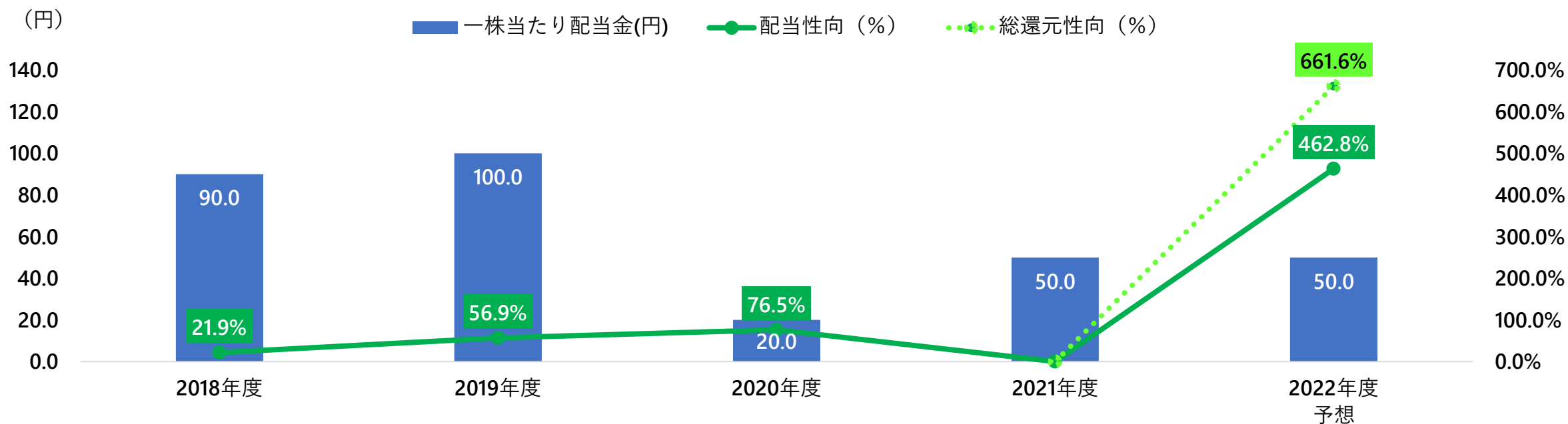
- ROE
当期純利益が前期比+10億円の1億円となり0.3%を計画。前年同期比+2.9pt
- ROIC
税引後営業利益が前期比△12億円により△2.8ptとなる0.5%を計画

主要指標推移（参考資料）

単位：百万円

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	22年度予想	前期比
ROE (%) ① ÷ ②	10.8%	4.5%	0.7%	△ 2.6%	0.3%	+ 2.9pt
① 親会社株主に帰属する 当期純利益	3,854	1,645	244	△ 951	100	+ 1,051
② 自己資本（期中平均）	35,553	36,492	36,948	36,760	36,562	△ 198
ROIC(%) ③ ÷ ④	8.5%	4.5%	0.9%	3.3%	0.5%	△ 2.8pt
③ 連結営業利益 × 実行税率	3,798	2,021	383	1,461	208	△ 1,253
④ 固定資産 + 運転資金（期中平均）	44,613	45,154	43,671	43,110	43,749	+ 638
Cap比率(%) ⑤ ÷ (⑤ + ⑥)	24.8%	23.9%	26.2%	26.9%	28.9%	+ 2.0pt
⑤ 有利子負債	11,953	11,503	13,187	13,398	14,977	+ 1,579
⑥ 自己資本	36,273	36,712	37,184	36,326	36,798	+ 472

- 22年上半期に自己株取得2億円を計画通り実施済
- 中間配当は予定通り30円を実施。配当性向は925%
- 当初中間・期末各30円ずつの計画でしたが、業績を踏まえ前期同額の年間配当金50円（中間30円、期末20円）といたします。



- 本資料に記載する業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
- このため、様々な要因の変化により、実際の業績とは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず無断の複製・転載をお断りします。

問合せ先 総務部総務課 IR担当

電話番号 0847(40)0501

企業サイト <https://www.kiw.co.jp/>